

問 将来的な「まちづくり」を考えた場合、市役所及び石巻駅周辺は本市の顔であり、表玄関であることから、「市民交流」、「商業」、「交通」の3つの中心拠点と考えている。

答 当面は、都市交通の円滑化と駅周辺市街地の連続性を高めるとともに、交通結節点の機能充実を図るための道路整備を進めたい。

問 新庁舎を核とした街づくりの展望は

答 「市民交流」「商業」「交通」の中心拠点に

問 待望の新庁舎がオープンしたが、今後市役所を核にした街づくりについて、20年後、30年後の将来を見据えた場合、市役所や石巻駅周辺をどのようにしようとしているのか。



▲市役所を核とした今後のまちづくりは

一般質問

議員24人が登壇

市政を問う!

第1回定例会の一般質問は、3月23日、24日、25日及び26日の4日間行われました。

今回は新議場での初の一般質問となり、24人の議員が登壇し、市政全般にわたり市当局の見解をたどりました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

また、一般質問の詳細については、『石巻市議会ホームページ』で録画映像にてご覧いただけます。



石巻市議会ホームページにて
録画配信しています

問 チリ大地震津波被害に激甚災害指定を

答 できる限りの働きかけをしていく

問 チリ大地震津波によりカキやノリなどの養殖業に深刻な被害が出ているが、水産都市石巻として、復活復旧させるためには、国の手厚い支援が受けられる激甚災害の指定が必要であると考えるが、市の対応は。

答 被害を受けた漁業者の生活不安を和らげ、生産体制の復旧を加速させるためには、激甚災害の指定を受けることが何よりも有効であり、その指定に向けて、国に対し、できる限りの働きかけを行っていきたい。



▲激甚災害の指定が決定



議場コンサート

議場コンサートを開催しました

第1回定例会の本会議初日にあたる2月23日、議場を開放して恒例となった議場コンサートを開催しました。

今回は、「虹色のコンサート」と銘打ち、琴城流大正琴石巻支部石巻中央公民館教室の皆さんによる「涙のリクエスト」「酒と泪と男と女」「涙そうそう」など6曲の大正琴の演奏が披露され、来場された多くの観客に感動を与えていただきました。

議会では、今後も議場コンサートを開催する予定ですので、市民の皆さんの御来場をお待ちしています。

問 再編される石巻市立高校は魅力ある学校に
答 統合準備委員会を設置し検討する

問 再編される市立高校が、「魅力ある学校」となるよう、どのような方策を考えているのか。

答 生徒の多様な進路希望や興味・関心に応じ、科目を選択することが可能となるよう、学科の設定を工夫するとともに、琴や茶道・華道・着付け等の女性のたしなみやマナー、伝統美を身につけるための学習を教育課程に位置づけたい。
 なお、具体的内容については統合準備委員会を設置して検討したい。

問 消防団協力事業所表示制度とは

答 地域における社会貢献の証

問 制度の内容と消防団協力事業所として認定された場合のメリットは何か。

答 消防団活動に協力的な事業所等を「消防団協力事業所」と認定し、地域における社会貢献の証として認定証及び表示証を交付する制度である。

交付された表示証等を社屋に掲示し、社会貢献に積極的な事業所として公表することができるなど、地域に対する信頼性の向上やイメージアップにつながることを期待される。



▲消防団協力事業所認定マーク証

問 ブロードバンドの災害時活用を

答 災害時情報伝達手段の構築が可能か検討

問 情報基盤施設（光ファイバー網）の整備が進み、世帯カバー率は99.4%までになったことから、今後、ブロードバンドを災害時の通信手段として活用すべきと考えるが。

答 平成23年度を目標にブロードバンドが利用できる環境を整備することとしており、今後このネットワークを活用した、地域における災害時情報伝達手段の構築が可能か検討していく。



▲石巻駅前広場

問 石巻駅前広場の整備を
答 中心市街地活性化対策の中で整備をすすめたい

問 駅前駐輪場の移設や、タクシールールの整備など駅前広場を大幅に改良すべきと考えるが。

答 駅前広場内の混雑緩和と交通の円滑化を図るため、駐輪場の南側の一部約50メートル区間に一般車用の乗降場を設けることを検討しており、中心市街地活性化対策の中で、まちづくり交付金を活用して整備を進めたい。

問 新たな生ゴミ減量化対策として

答 更なる減量化を推進していきたい

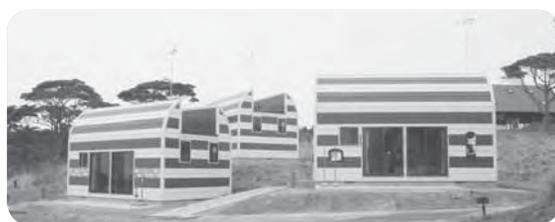
問 生ゴミ減量化のため、電気式生ゴミ処理機から出る乾燥生ゴミを野菜などと交換する新たな回収事業を提案するが。

答 家庭ゴミの約30%が生ゴミであり、提案のあった交換回収事業については、生ゴミ減量化の有効な手段であると考えことから、他市の状況も調査研究し、更なる減量化及び資源化を推進していきたい。

問 動物にやさしいまちのアピールを
答 積極的にPRしていく

問 猫の島・田代島はテレビや雑誌などでも大きく取り上げられ、また、新たに猫型ロτζジが増設されることもあり、田代島をもっと動物にやさしいまちづくりのシンボルとしてアピールしてもいいのでは。

答 田代島の持つ魅力や猫とのふれあいのできる島として、更に積極的にPRし、観光客の誘致につなげていきたい。



▲猫型ロτζジ（田代島）

問 救急医療情報キットの配布を

答 先進事例等を研究していく

問 災害時や救急時につけつけた救急隊員が患者の情報を正確に把握できるよう、災害時要援護者と高齢者、障がい者のいる世帯を対象に、救急医療情報キットの配布をすべきと考えるが。

答 医療情報を入れたキットを冷蔵庫に保管し、つけつけた救急隊員がその情報を生かし、迅速に適切な救命措置をするという、万一の救急時に備えたこのアイデアは大変画期的なものであることから、今後、課題等について先進事例を参考にしながら研究をしていきたい。



▲水辺の魅力活かしたまちづくりを

問 北上川を活かしたまちづくりの推進を
答 国・市・民間が一体となって進めていきたい

問 市の水辺の緑のpromenade計画と、国の北上川水系河川整備事業との連携した整備を推進すべきと考えるが。

答 北上川は、洪水から守る治水対策と市民が水辺に憩い楽しむ環境整備等が一体となった「かわまちづくり」として進めるべきと考えており、国が策定している北上川水系河川整備計画に、市で策定する水辺の緑のpromenade計画を反映し、国と市そして民間が一体となり、北上川を活かしたまちづくりを進めていきたい。

問 プルサーマル計画同意の理由は

答 総合的に住民理解が得られたと判断

問 プルサーマル計画に同意した理由は。

答 宮城県及び女川町とともに設置した「安全性にかかる検討会議」において慎重に検討した結果、安全性が確認できたこと、市議会からの報告書及び市民勉強会の意見書、並びに対話フォーラム等から、概ね賛成とする意見が過半数を占め、総合的に住民の理解が得られたと判断したことから、受け入れに同意した。

問 旧庁舎跡地の活用は
答 地域交流センターを整備

問 旧庁舎の今後の活用について、具体的内容と実施時期は。

答 旧本庁舎跡地については、平成26年度以降に図書館と公民館機能を有し世代間交流が可能な複合施設として「地域交流センター」を、第1分庁舎（旧石巻郵便局）跡地については、平成25年度から民間活力を活用した地域優良賃貸住宅を整備していく。



▲今後地域交流センターを整備

問 総合支所の組織機構改革について

答 効率的な行政組織の再編に取り組む

問 総合支所の産業建設課を廃止・統合することのことは、小規模工事等を所管し、地域住民からの要望の多い課と認識するが、迅速に対応できる組織機構への統合なのか。

答 産業建設課の所管である公共施設や道路等の維持管理については、統合しても機能面で変わりはなく、小規模な修繕や緊急時における住民要望に対応できる予算を配当し、各総合支所で対応していきたいと考えている。

問 市主催行事で市民憲章の唱和を
答 唱和を徹底し市民憲章の普及を図る

石巻市民憲章

まもりたいものがある
それは 生命のいとなみ
豊かな自然
つたえたいものがある
それは 先人の知恵
郷土の誇り
たいせつにしたいものがある
それは 人の絆
感謝のこころ
わたしたちは 石巻で生きていく
共につくろう 輝く未来

問 市が目指す将来像や大切にしたいものなど、市民の望みや願いを込めてつくられたはずの市民憲章が市の主催行事で唱和されないのはなぜか。

答 今年の成人式で唱和したが、今後は市の式典や行事等において唱和の徹底に努め、市民憲章を広く市民の皆様方に浸透させていきたい。

問 国の重点港湾40港の選定に向けて

答 官民一体となった要望活動に取り組む

問 国の港湾指定の再編に伴う重点港湾40港の選定に向けた市としての考え方は。

答 石巻港は、石巻圏域並びに中部東北の振興を担っており、その整備、利用促進は地域産業の発展に大きく貢献するものと考えている。国の重点港湾40港の選定に向けて、官民一体となった要望活動に積極的に取り組んでいきたい。



▲重要港湾石巻港

問 国の農業整備予算削減への対応は

答 情報収集に努め事業促進に向け働きかける

問 平成22年度農水省の基盤整備事業・かん排事業予算の大幅削減が及ぼす影響と市の対応は。

答 平成22年度国の予算において、農業農村整備事業は対前年度比36・9%という、大幅な減額が示されており、農業基盤整備事業に与える影響は非常に大きく、本市における県営ほ場整備事業や国営中津山農業水利事業についても、相当な影響があるものと懸念している。

今後とも情報収集に努めるとともに、宮城県及び関係機関との連携を密にし、事業促進に向けた取り組みを積極的に行っていきたい。

問 石巻圏域定住自立圏構想について

答 おおむね5年間のビジョンを策定する

問 今後、具体的にどのような連携を図っていくのか。

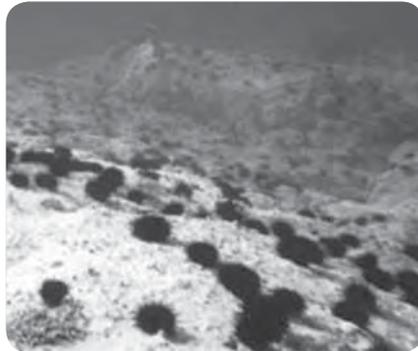
答 本市を中心市として、東松島市及び女川町と連携を想定している内容は、救急医療体制をはじめとする地域医療ネットワークの充実や企業誘致、広域観光戦略及び農商工連携など20項目以上を考へており、今後、具体的な検討を行う中で、各々の自治体の役割分担などを明確にしていきたい。

問 磯焼け対策への取り組みは

答 漁業者や大学の協力を得て対策を研究

問 近年、沿岸各地で磯焼けと思われる現象が進み、深刻な問題となっているが、その対策は。

答 漁業者や石巻専修大学の協力をいただきながら、地域の特性にあった効果的な磯焼け対策を研究していきたい。



(イメージ写真)

「磯焼け」とは、沿岸海域に生息する海藻の多くが死滅し、それに伴ってアワビなどの水棲生物が減少し、漁業に大きな打撃を与える現象

問 指定避難所にテレビの設置を

答 設置形態を研究する

問 避難という異常事態には、周囲の状況を知る上で、テレビは不可欠。来年7月からの地デジ放送を見据え、テレビを配備すべきと考えるが。

答 避難所における情報提供は、非常に重要であると認識している。

避難所で地上デジタル対応テレビの視聴を可能とするためには、まずは避難所の環境整備が必要であり、その費用も含め設置形態について研究していきたい。

議会を傍聴してみませんか？

次の定例会は6月です。詳細の日程については議会事務局へお問い合わせください。

本会議の開会時刻は原則午後1時ですが、議会運営上開会時刻が変更になることがあります。 ※団体で傍聴をご希望の場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

1 例会
傍聴人数
283人



傍聴トピック

渡波地区区長行政衛生連合会の皆さんが3月2日(火)の第1回定例会を傍聴にいらっしやいました。

問 有事の際の避難対策は

答 課題を認識、問題解決に向け検討していく

問 チリ地震津波に対する避難対策の総括は。

答 今回のチリ地震津波における避難率は約3.6%という極めて低い数字となった。

想定される宮城県沖地震による津波は、一番早く到達する牡鹿地区では12分といわれており、津波対策における課題を認識し、問題解決に向けて検討していきたい。



▲避難対策は万全か

問 人事配置及び事業推進にあたって

答 経験や見識、バランスに配慮する

問 人事配置及び事業推進にあたっての考えは。

答 市民が主体となり、自らの暮らしの満足度を高めていくよう、市民と行政とが協働するまちを目指した施策を展開していきたいと考えている。

そのためにも、「経験」「見識」「バランス」に配慮し、職員の適性と公正で公平な配置を行い、職員と心をひとつにし、一丸となって行動する行政を目指したい。

庁舎閉庁式

3月19日の定例会散会后、議場を会場として旧庁舎の閉庁式が行われました。

昭和33年3月に開庁した石巻市庁舎は53年余の長きに渡る歴史に幕を下しました。



問 8月の組織機構改革の内容は。

答 新たな政策課題に対し、迅速・的確に対応するため、組織機構改革を実施するものであり、課等の統廃合により、課単位の職員数を増やし、業務の繁忙期や短期集中業務への対応など、柔軟な人員配置を可能とする組織に再編する。



▲市の組織機構はこうなる

問 組織機構改革のねらいは
答 新たな政策課題に迅速・的確に対応

問 財政効率化をいかに図るか

答 生産性の高い、機能的でコンパクトな組織に

問 将来を見据えて財政効率化をいかに図るのか。

答 厳しい財政環境と分権型地域社会への移行を踏まえ、行財政改革を継続的に推進するとともに、民間活力の積極的な導入や幅広い識見を身につけた職員の育成などによる政策形成能力の向上を図り、生産性の高い、機能的でコンパクトな組織によって、効率的な行政経営に努めていく。

問 職員の意識改革が必要と思うが

答 計画的に人材育成に努める

問 経営感覚を磨くためには、行政評価に関する研修と職員の意識改革が必要と考えるが。

答 職員が「行政評価の目的」や「評価の仕方」といった基本的な事項を理解し、評価を行うこと自体が目的化しないよう、職員研修を積極的に実施し、行政評価に対する意識改革を図っていく。また、これから地域間競争を勝ち抜くためには、職員の「政策形成能力」や「行政経営能力」を向上させていくことが重要であり、計画的に人材の育成に努めていく。

主な提出議案と審議結果

予算関係 (原案可決)

- 平成22年度 石巻市一般会計予算
- 平成22年度 石巻市土地取得特別会計予算ほか各種特別会計予算 12件
- 平成22年度 石巻市病院事業会計予算
- 平成21年度 石巻市一般会計補正予算
- 平成21年度 石巻市土地取得特別会計補正予算ほか各種特別会計補正予算 9件
- 平成21年度 石巻市病院事業会計補正予算

条例関係 (原案可決)

- 石巻市特別用途地区建築条例
- 石巻市表彰に関する条例の一部を改正する条例
⇒市政功労者が死亡した際の灯籠及び弔慰金を廃止し、弔意を表すメッセージを贈ることとする。
- 石巻市マンガアイランド条例の一部を改正する条例
- 石巻市情報プラザ条例の一部を改正する条例
- 石巻市牡鹿地区市民バスの運行に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 石巻市公共物管理条例の一部を改正する条例
- 石巻市文化財保護条例の一部を改正する条例
- 石巻市社会福祉事務所設置に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市重度心身障害者等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

石巻市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例

⇒100歳の敬老祝金を減額するとともに77歳の祝金を廃止し予防接種等高齢者施策の充実を図る。



- 石巻市企業誘致条例の一部を改正する条例
- 石巻市都市公園条例の一部を改正する条例
- 石巻市道路占用料条例の一部を改正する条例
- 石巻市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例
- 石巻市消防団条例の一部を改正する条例
- 石巻市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

その他 (原案可決)

- 指定管理者の指定について
(石巻市河南室内プール・石巻市かなんパークゴルフ場)
- 財産の無償貸付について
- 公有水面埋立に関する意見について
- 石巻地区土地開発公社定款の変更について
- 公の施設の利用、利用の廃止に関する協議について
- 市道路線の認定、廃止、変更について
- 専決処分報告について

委員会提出議案 (原案可決)

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

人事案件 (同意)

- 教育委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて
⇒綿引 雄一(わたひき ゆういち)氏を再任
- 人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて
⇒山下 二郎(やました じろう)氏を再任
北村 泰秀(きたむら たいしゅう)氏を新任

議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏名	石巻市敬老祝金を改正する条例
1	今村 正 誼	○
2	黒須 光 男	○
3	阿部 仁 州	—
4	高橋 左 文	○
5	阿部 純 孝	○
6	青山 久 栄	○
7	大森 秀 一	○
8	高橋 栄 一	○
9	近藤 孝	○
10	阿部 久 一	○
11	阿部 欽 一郎	○
12	松川 恵 一	○
13	菅野 昭 雄	○
14	堀川 禎 則	○
15	渡辺 拓 朗	○
16	丹野 清	欠席
17	千田 直 人	○
18	阿部 和 芳	○
19	阿部 政 昭	○
20	三浦 一 敏	×
21	水澤 富 士 江	×
22	安倍 太 郎	×
23	石森 市 雄	×
24	高橋 健 治	○
25	黒澤 和 雄	○
26	伊藤 啓 二	○
27	櫻田 誠 子	○
28	長倉 利 一	○
29	森山 行 輝	○
30	後藤 兼 位	○
31	西條 正 昭	○
32	大槻 幹 夫	○
33	高橋 誠 志	○
34	庄司 慈 明	△
賛 成		27
反 対		4
棄 権		1
欠 席		1

※○：賛成、×：反対、△：棄権
※阿部仁州議員は議長であるため採決には加わりません。

請願の審査結果

第1回定例会において、審査され、採択された請願は次の通りです。

外国人支援相互ネットワークの構築と多言語による外国人総合相談窓口の設置に関する請願

総合防災対策特別委員会

【調査目的】

近い将来発生が予想される宮城県沖地震による災害への対策、及び東北電力女川原子力発電所の安全対策に関する諸問題について、必要な調査・検討を行った。

【まとめ】

女川原子力発電所におけるヒューマンエラーや不具合が繰り返される中、国のエネルギー政策のひとつであるプルサーマル計画をはじめ、女川原子力発電所の安全対策に委員会活動のほとんどを費やすこととなり、宮城県沖地震をはじめとした、その他の災害に関する活動が少なかったことについては残念である。

宮城県沖地震をはじめとした各種の自然災害、及びプルサーマル計画が進行する中、使用済み燃料の問題や耐震安全性が心配される女川原子力発電所の安全対策について、常に監視を続け、細かな事象についても万全を期すべく指摘を行い、さらなる対策を講ずるよう求めていくことにより、安全・安心が確保され、住民の信頼につながっていくと考える。

まちづくり活性化検討特別委員会

【調査目的】

大規模商業施設の郊外立地等による空洞化が進む中心市街地に賑わいを取り戻し、魅力あふれる市街地の形成を目指して、市が策定を進める中心市街地活性化基本計画に関する調査・検討を行った。

【まとめ】

中心市街地活性化協議会をはじめ、関係機関との意見交換会を開催し、まちづくりに対する考え方など、積極的に意見を伺った。その中で、計画の将来像や明確なランドデザインを提示してほしいなど多くの意見が出されたが、計画策定は、市と法定協議会がしっかりキャッチボールし、それに議会が加わり、3者が共通認識のもと、実現可能な計画とすることが重要であると考えている。



▲市当局に対し基本計画をたず

特別委員会の調査活動報告

各特別委員会はこれまでの活動内容や委員からの意見について取りまとめたことから、その要旨についてご紹介します。

市立病院健全経営検討特別委員会

【調査目的】

本市の医療需給、医療を取り巻く環境を踏まえた市立病院の役割と、市立3病院の健全経営や再編整備等についての必要な調査・検討を行った。

【まとめ】

現在、病院間の役割分担及び連携が地域医療の分野でも欠かせない課題となっており、地元で完結するためには、基幹病院を核とした病院間連携が一層必要になっている。人口流失に歯止めをかける要素の一つが医療の充実と考えられ、その充実に向かって鋭意努力していく必要があると考える。



▲先進地視察での様子（綾部市）

入札及び契約に関する特別委員会

【調査目的】

本市の入札及び契約制度の確立に関する諸課題について必要な調査検討を行うとともに、より良い入札及び契約制度のあり方を市当局に対し提案するため調査・検討を行った。

【まとめ】

昨今の不況による企業倒産、リストラによる失業者の増大の現状をみると、雇用の創出が企業・経営者の社会的責務とはいえ、最近の行き過ぎた廉価至上主義も現在の経済不況を招いている一因であると危惧される。

また、本市においては厳しい財政状況が続いており、今後も工事発注等の件数の減少が見込まれることから、企業が適正な利潤を確保し、将来にわたって雇用に創出することができるよう、自治体は側面から支援する必要があると考える。

よって、市の入札及び契約制度の運用にあたっては、今後とも尚一層受注偏重是正に留意しながら、公正化、透明化と効率化を図り、制度について研究調査の上、現状を踏まえた早急な見直しを新年度から実施するよう期待する。

第2回
臨時会

市民参加を基軸とした

「議会基本条例」と

「議員政治倫理条例」

を制定



▲議会基本条例を賛成多数で可決（4/23臨時会）

4月23日開会された第2回臨時会において、議会の憲法ともいえる「議会基本条例」と「議員政治倫理条例」が議員提案され、いずれも賛成多数で可決されました。

議会基本条例

議会基本条例は、前文と全25条の条文からなり、議会の役割を明らかにするとともに、議会及び議員活動などの基本事項を定めたものです。

市長と独立・対等の立場のもと、市民参加と市民への情報発信、説明責任を果たし、積極的な政策提言を行う仕組みを基軸にすえているところに本市議会の基本条例の大きな特徴があります。

主な特徴

議会報告会・市民意見交換会

議会の説明責任を果たすため議会報告会を開催するとともに、市民の意見などを聴く場を設け、議会内の議論や政策形成につなげていきます。

広報広聴委員会

市民との意見交換会の開催をはじめ、市政に係る重要な情報の提供や、市民の多様な意見や要望

を取り上げるなど、議会における広報広聴機能を充実させるため広報広聴委員会を設置します。

議員政策研究会

市民との意見交換会などを通じて把握した民意や市政に関する重要な政策・課題等について、議会で議論し、議会全体の合意としての政策立案や執行機関への提言などを行う機能として議員政策研究会を設置します。

自由討議

議会は言論の府であり、合議制の機関であることから、議案等の審議又は審査において、議員相互の自由な討議により議論を尽くし、議会としての合意形成を図るよう努めるものです。

市長との関係

議会は市長等と対等な立場で政策論議を行い、緊張関係を保持するため、議員と市長等との質疑応答は、論点・争点が明確になる一問一答方式により行うとともに、市長等

の執行機関側が、論点を明らかにするため、必要に応じ議長や委員長の許可を得て議員に対して質問することができ、反問権を付与します。

議員政治倫理条例

議員政治倫理条例は、前文と全18条の条文からなり、「議会基本条例」の規定事項としてあげている議員のあり方について、議員に求められる倫理観や品位の保持などを具体的に定めたものです。

主な特徴

政治倫理基準

議員がその権限や地位を利用して、許認可や契約に関して特定の企業や団体に対し便宜を図る行為や金品等の受領、コンプライアンスに違反する行為等をしてはならないなどの政治倫理基準を定めています。

調査請求要件

市民は、議員に政治倫

理基準に違反する行為があると認められるときは、違反行為を証する書類と選挙権を有する者100人以上の連署をもって、議長に調査請求することができます。

政治倫理審査会

議長が委嘱する委員（6人以内）で構成する政治倫理審査会は、調査請求のあった事案が政治倫理基準に違反するかどうかを審査し、その結果を議長に報告します。



▲基本条例案についての市民意見交換会

新議会棟を 紹介します

市庁舎の6階が議会棟フロアとなっております

ここで議会の
本会議が行われます。

議場



傍聴席は議場内に66席あります。
難聴者の方には難聴者用イヤホンを
貸出ししております。

傍聴席



第1から第4までの委員会室があり、
議会運営委員会、各常任委員会、特
別委員会等の審査がおこなわれます。

委員会室



議員の調査・研究のための図書室です。
なお、一般の方も利用できます。

議会図書室



ご意見拝聴

「市民の聲」

議会運営について皆様の
ご意見をお聞かせください。

石巻市議会では、市民福
祉の向上を目指し、開かれ
た議会運営に努めており、
市民の負託に応えるため
「市民の聲」を実施してい
ます。

提案や意見は、議会棟入
口と議場傍聴席入口に設置
している提案箱への投函、
あるいは郵送、電話、ファ
クシミリ、電子メール等に
より随時受け付けていま
す。

石巻市議会事務局

〒986-8501

石巻市穀町14番1号

TEL (95) 1111

(代表)

FAX (96) 2274

メール

assescc@city.ishinomaki.lg.jp

公職選挙法の規定により
議員の寄付行為や時候の
挨拶状などは禁止されて
います。

議会の動き

2月

- 3日 宮城県市議会議長会総会
- 8日 議会運営委員会
- 9日 まちづくり活性化検討特別委員会
- 10日 行政視察来局（愛知県岡崎市議会）
- 15日 行政視察来局（青森県黒石市議会）
- 16日 議会運営委員会
全国市議会議長会第125回地方行政委員会（東京）
- 19日 議会運営委員会
会派代表者会議
- 23日 議場コンサート
市議会第1回定例会開会（～3月26日まで）
本会議（施政方針演説）
全員協議会
- 26日 総合防災対策特別委員会
- 11日 産経教育委員会
- 12日 建設委員会
- 15日 議会運営委員会
総務企画委員会
- 19日 総合防災対策特別委員会
市立病院健全経営検討特別委員会
まちづくり活性化検討特別委員会
本会議（委員長報告、追加議案審議）
- 23日 本会議（一般質問）
- 24日 本会議（一般質問）
- 25日 本会議（一般質問）
- 26日 本会議（一般質問）
市議会第1回定例会閉会

3月

- 1日 本会議（施政方針に対する質疑）
- 2日 議会運営委員会
本会議（施政方針に対する質疑）
- 3日 議会運営委員会
本会議（条例案等審議）
- 4日 本会議（平成22年度予算案審議）
- 5日 本会議（平成21年度補正予算等審議）
産経教育委員会
会派代表者会議
- 8日 産経教育委員会
- 9日 総務企画委員会
- 10日 環境福祉委員会

4月

- 1日 議会運営委員会
- 12日 議会基本条例意見交換会
議会運営委員会
- 19日 行政視察来局（岩手県葛巻町議会）
- 20日 議会運営委員会
- 21日 行政視察来局（鳥根県浜田市議会）
- 23日 市議会第2回臨時会

5月

- 10日 行政視察来局（東京都町田市議会）
- 11日 行政視察来局（大分県大分市議会）
- 19日 行政視察来局（茨城県土浦市議会）

市議会 ホームページ

ぜひ
ご覧ください!!

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/gikai/gikai.jsp>
へアクセスしてください。

石巻市議会

検索

市議会ではホームページを開設しています。議会に関する様々な情報を掲載しています。議会の日程や「いしのまき市議会だより」で取り上げた内容等についても詳しくご覧いただくことができます。

定例会や各委員会の会議録も検索できます。

NEW

本会議における一般質問等を録画中継でご覧いただけるようになりました。



DATA 市総人口:163,594人【男:78,850人/女:84,744人/世帯数:60,525世帯(平成22年4月1日現在)】

発行/石巻市議会 編集/石巻市議会事務局 〒986-8501 宮城県石巻市穀町14番1号 ☎0225-95-1111 印刷/七星社